

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。なおこの研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 1997年4月1日から2021年12月31の間に、急性骨髄性白血病のために虎の門病院血液内科に入院し、初回の同種造血幹細胞移植を受けられた方。

【研究課題名】

中枢神経浸潤を伴う急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績

【研究の目的・背景】

《目的》

急性骨髄性白血病に対して初回の同種造血幹細胞移植を行った症例を後方視的に解析し、中枢神経浸潤の有無で成績や臨床経過がどのような差が出るのかを比較いたします。

《研究に至る背景》

急性骨髄性白血病の中枢神経浸潤合併例は比較的稀であり、これまでその同種造血幹細胞移植成績を報告した研究は少なく、移植後の予後はよくわかっておりません。当院は世界的に見ても非常に多くの初発急性骨髄性白血病の同種移植を行っている施設であります。本研究の結果から、難治性の造血器悪性腫瘍の患者さんにより良い移植医療を提供できるようになる重要な情報が得られると考えております。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年4月25日 ～ 2025年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院血液内科・部長 内田直之のもと研究終了

後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

その予定はありません。

【利用する診療情報】

患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、移植までの治療や期間、中枢神経浸潤の病態と経過、移植時の病期、併存疾患やPS）

移植情報（移植源、移植前処置、GVHD 予防、移植時の感染予防、移植中の合併症、急性/慢性 GVHD 発症率、再発、生存率）

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科・部長 内田 直之

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年9月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 渡部 音哉

電話 03-3588-1111(代表)